一九州臨時裁判所事務取扱人名記

一手當金差遣候人名記

一友成正雄口供并擬律宣告書寫

一松浦新吉郎同断

一櫻田惣四郎同断

一九州臨時裁判所事務取扱人名記

一手當金下ケ渡サレ人名記

右兩書寫ヲ以テ賞勲局ヘ廻シ置ク

右件々寫賞勲局ヘ廻ス 十二月廿八日

出候間致進達候

明治十年十二月十三日

陸軍大將兼議長二品親王熾仁

太政大臣三條實美殿

一九州臨時裁判所事務取扱人名記
一手当金差遣候人名記
一友成正雄口供并擬律宣告書写
一松浦新吉郎同断
一桜田惣四郎同断
一大里八郎同断
一裁断表
右之通河野幹事ヨリ差出候間致進達候也
明治十年十二月十三日
陸軍大将兼議長二品親王熾仁
太政大臣三条実美殿

九州臨時裁判所事務取扱人名記

九州臨時裁判御用取扱惣人員

検事長　岸良兼養
判事　小畑美稲
同　大塚正男
同　三好退蔵
同　南部甕男
同　馬屋原次郎
同　箕元忠
同　中島信近
同　鶴峰申敬
同　臣佐武
検事　杉本芳熈
同　橋口兼三

検事 加納謙
同 野田頌容
同 岡本豊章
元老院少書記官 戸田秋成
同 馬屋原彰
元七等判事 木原章六
判事補 伊秩道久
同 利岡武之
同 杉本清晟
同 山根恭太
同 渡邊融
同 松島隆成
同 古庄龍象

検事補 立川主一
同 関清英
同 長谷川秀実
同 平野長憲
司法省八等出仕 香川景信
同 松村秀實
同 福田正章
福岡縣一等警部 岡村為蔵
司法二等属 近藤秀寛
司法省九等出仕 今井良一
同 海野勲
同 中御門経明
同 曽根誠蔵

元老院四等書記生 湯川貫一
司法省十一等出仕 阪本品理
同 大河原隆
同 岡島力
司法五等属 筧[illegible]
大坂府八等属 深瀬和直
司法省十二等出仕 関田耕作
司法七等属 神谷喬正
福岡県七等警部 岡野正理
司法省十四等出仕 三羽明良
同 河野忠三
同 手塚吉康
司法八等属 野村萬敬

司法省十五等出仕 雨宮克
同 井上謙吉
同 岸本重親
同 笠慎三郎
大分県五等警部 原時亮
福岡県九等警部 三樹達
司法省十六等出仕 原英清
同 川津水城
同 東野秀彦
同 杉本朔
同 秋月新
同 甲野弘
同 濱井逸之

同 河野節造
同 荒川正忠
司法十等屬 西村良衛
同 津崎長徽
内 大分縣十等屬 後藤正三郎
長崎縣十等屬 品川熊次郎
福岡縣十等屬 礒村鴛二
司法省十七等出仕 志村亮平
同 土屋素三
同 菅原景忠
同 海津諒助
同 仲村栄礼
同 中村弥門

同 伴林光雄
同 渡部音次郎
同 冨田真一
同 河添潮
同 岡村益夫
同 山田久儁
同 廣瀬正種
同 汲田十寸見
同 中重福
同 岩田士景
元長崎縣十等屬 西津真揆美
元司法省十七等出仕 田中武
同 鍋島資長

故司法省八等出仕 柳川千里

〆九十二名

外ニ

等外兼傭 百二十二人

給仕 十四人

小使 二十九人

総計弐百五十七人

手當金差遣候人名記

本ニ聴

金拾五円宛　司法省等外一等出仕見習　五和兵エ
同　吉屋美順
同　甲藤博人

同七円　雇出仕　長谷川源之助

同弐円　長崎縣三等巡査　藤原賜

同壹円　同縣等外二等出仕　高木粂太郎

同拾円宛　司法省等外一等出仕見習　泉見保二
同　三等出仕　吉村七雄

刑島崎武

金五円　　日　　四等出仕　秋田伊造

金五円宛
　雇出仕　藤雅高治
　同　山口吉五郎
　同　種田義明

同五円宛
　給仕　副島長太郎
　同　円城寺英三

同六円宛
　小使　円城寺貞七
　同　小田彦吉
　同　島田中彦吉
　同　檀次八

同弐円宛
　同　横田嘉一
　同　内田岩吉

同拾円宛
　鹿児島出張所
　同　法省等外二等出仕　宮浦［illegible］
　同　四等出仕　司井錦治
　同　三等出仕　児玉実好
　同　四等出仕　綾島八郎
　同　同　窪田盛親

　大分同上
　同　法省等外一等出仕　高石爲［illegible］

臨時裁判所

金拾円宛
同　三等出仕　木戸次郎
同　四等出仕　阿部信義
同　同　尾呂捨義
大分県雇通生　緒方敏

熊本出張所
雇出仕　門田景治
同　長田忠雄
同　准等外二等出仕　福間茂記
同　三等出仕　永井三郎彦
同　雇出仕　高田教清
同　雇出仕　松田則高

同拾円宛

宮崎同上
同　准等外二等出仕　中村辰次郎
同　二等出仕　井門重政
同　二等出仕　西村周吉
同　三等出仕　井尻芳男
同　三等出仕　岸喜久一
雇出仕　吉武猪太郎

右之通為手当差遣候事

友成正雄
松浦新吉郎　口供並擬律
櫻田惣四郎　宣告書寫
大里八郎

西郷隆盛ノ逆意ニ與シ池部吉十郎ヲ佐ケ兵器ヲ弄シ衆ヲ聚メ其本営ノ参謀トナリ官兵ニ抵抗スル者

朝憲ヲ紊乱セシヿヲ企テ兵器ヲ弄シ衆ヲ聚メ以テ官軍ニ抵抗スル従ニシテ首ト同ク畫策ヲ主ル者

除族ノ上

斬

友成正雄

熊本縣第一大區五小區
水道町居住士族
友成正雄

其方儀西郷隆盛ノ逆意ニ與シ池部吉十郎ヲ佐ケ兵器ヲ弄シ衆ヲ聚メ其本営ノ参謀トナリ官兵ニ抵抗スル科ニ依リ除族ノ上斬罪申付ル

明治十年十月三十日

熊本縣第一大區五小區水道町
居住熊本縣士族
友成正雄
二十六年七月

一自分儀平素方今ノ御政体上外國御交際ノ儀ニ有テハ意見モ之レアリ慷慨ニ堪ヘス時機アラハ身命ヲ擲チ素志ヲ貫カントス其時機ヲ待居候処本年二月十三日方今縣士族ニテ鹿児島縣ニ奉職罷在ル松崎迪ナル者帰縣シ今般政府窃ニ人ヲ遣リ西郷隆盛ヲ暗殺セントセシ陰謀発覚セシニヨリ右始末政府ヘ尋問ノ為メ隆盛等近日数多ノ兵隊ヲ引率道

九州臨時裁判所

ヲ熊本ニ取リ東上スルニ付右ヲ諸君ニ報告セン為メ帰縣
セリト聞キ今コソ素志ヲ果スノ好機会ト存シ兼テ仝志
ノ池辺吉十郎ヲ始メ佐々千城同人弟佐々友成松浦
新太郎山崎貞平櫻田惣四郎大里八郎等ト會議シ
兵ヲ募テ西郷ニ應スルニ決シ仝人ノ来ルヲ待居候処仝
月十九日西郷ノ先鋒川尻ニ着シ臺兵ハ城下ノ人家ヲ
焼拂ヒ籠城ノ備ヲナシ仝月廿一日開戦相成タルニ付
廿二日竹ノ宮ニ仝志相會シ池辺ノ指揮ニ依リ隊
ヲ組ミ自分ハ七番小隊秋野逸藏隊ノ参謀トナリ
後幹事ト改ム（班位小隊長ノ次ニアリ）四月下旬男成ニ於テ小隊
ヲ中隊ニ編正ノ時仝所池辺ノ本営ヘ招カレ本営付参
謀申付ラレ（班位中隊長ノ上ニアリ）五月大口ノ戦ニ重傷ヲ負ヒ延岡近
在永井村病舎ニ於治療罷在ル処各処ノ身方敗潰シ官兵四
方ヨリ繰込来ルニ付重傷ノ身ニテ進退叶ハス大ニ窮迫スト
雖モ素御國ノ為メトノミ思ヒ立シ事成ラスシテ此ニ至レルヲ
此侭徒ニ自尽シテハ全ク西郷ノ挙ニ雷同セラレテ死シタリ
ト後世迄人ニ云ハレン事ノ遺憾サニ前文ノ次第ヲ法庭ニ申
述ヘ相当ノ御処置ヲ被ルヘクト存シ降伏致候事
右之通相違不申上候以上

明治十年九月十六日

友成正雄

熊本縣肥後國第一大區六小區
北千反畑七百九十四番地士族
松浦新吉郎
三十六年二月

一自分儀本年二月中警部中原尚雄外数名政府ノ内命ヲ奉シ陸軍大将西郷隆盛ヲ暗殺セントノ陰謀發露シ其始末政府ヘ尋問ノ為メ隆盛兵ヲ引率シ途ヲ熊本ニ取リ東上スルトノ風説之アルト雖モ右ハ全ク虚説ナラント存シ居候折柄同十九日西郷ノ先鋒川尻ニ着シ臺兵ハ熊本城下ノ人家ヲ焼拂ヒ篭城ノ備ヲ為シ縣廳ハ衛船ニ移シ人心穏カナラス然ルニ西郷ノ東上ハ實事ニシテ傍観坐視スルニ

忍ヒサルヨリ同廿二日竹宮ニ於テ池辺吉十郎等ト會シ
種々議論ノ末終ニ隆盛ニ左祖スルヿニ議一决シ而
シテ同志輩ノ者共ハ同處ニ打寄リ初テ隊伍ヲ組ミ
池辺吉十郎ハ大隊長トナリ櫻田惣四郎先ニ大里八郎
等ハ参謀トナリ自分ハ大隊副長ノ任ヲ受ケ（仕置参謀ト同シ村々職掌ノ分取）
（主トシテ輜重會計ニ従事ス或ハ銃器ヲ携ヘテ兵士ト共ニ戦地ニ向フヿモ之アリト供出ス）大江村等ヲ経テ同廿
六日玉名郡寺田村ニ於テ官軍ニ抗敵シ同廿七日ヨリ山本
郡木留村ニ滞陣ス然ル処折節自分ハ病氣相發シ
兵貟ニ堪ヘサルニヨリ諜役ヲ断リ治療ス同四月中（目失定）池辺
ヨリ探偵ノ任ヲ受ケ鹿児島縣ニ赴キ加治木辺ニ滞在
同七月上旬ヨリ都ノ城其他各處ニ奔走中官軍四方
ヨリ御繰込相成候ニ付前非悔悟同八月十七日日向
國永井村ニ於テ降伏仕候事

右之通相違不申上候以上
明治十年十月九日
松浦新吉郎

西郷隆盛ノ逆意ニ與シ兵器ヲ弄
シ衆ヲ聚メ大隊長池部吉十郎
ヲ佐ケ其本営ニ在テ副大隊長ト
ナリ官兵ニ抵抗スル者
朝憲ヲ紊乱セントヲ企兵器ヲ弄シ
衆ヲ聚メ以テ官兵ニ抵抗スル従ニ
シテ首ト同ク畫策ヲ主ル者
除族ノ上
斬
松浦新吉郎

熊本縣士族

杉浦新吉郎

其方儀西郷隆盛等ノ逆意ニ與シ兵器ヲ弄シ衆ヲ聚メ大隊長池邊吉十郎ヲ佐ケ其本營ニ在テ副大隊長トナリ官兵ニ抵抗スル科ニ依リ除族ノ上斬罪申付ル

明治十年十月三十一日

熊本縣肥後國第一大區六小區
千反畑鐘木町六十九番地士族
櫻田惣四郎
四十九年

一自分儀本年二月中陸軍大将西郷隆盛政府ヘ尋問ノ筋之レアリ兵ヲ引率東上スルト道路ノ風説之レアルト雖モ右ハ全ク虚説ナラント存居候処同月中旬ニ至リ同志輩ノ者ヨリ今般西郷上京ハ実事ニシテ其原由ハ大久保参議川路大警視ノ両人密カニ人ヲ遣リ隆盛ヲ暗殺セントノ陰謀発露ニ其始末尋問ノ為メ隆盛兵ヲ引率途ヲ熊本ニ取リ東上スル趣ニ承リ初メテ其原由ヲ知リ実ニ義挙ナリ自分等ノ素志

ヲ違スルモ此時ニアリト存居候処同十九日西郷ノ先鋒川
尻ニ着シ臺兵ハ熊本城下ノ人家ヲ焼払ヒ自然
籠城ノ備ヲ為シ然ル処同廿二日託麻郡竹宮ニ於
テ同志池辺吉十郎等ト会シ終ニ隆盛ニ左袒
スルコトニ議決シ同志輩同処ニ相寄リ初メテ隊伍ヲ
組ミ池辺ハ熊本ノ大隊長トナリ自分大星八郎ハ
参謀トナリ同夜ハ同郡大江村ニ止宿ス翌廿三日熊
本出京町ヘ転陣ス同廿六日玉名郡寺田村ニ於テ
官軍ニ抗敵シ同廿七日ヨリ四月十五日迄山本郡木留
村ニ滞陣ス夫ヨリ木山矢部馬見原等ヲ経テ
五月一日人吉ヘ転陣ス夫ヨリ薩隅日州各地ヲ経
テ八月十八日日州永井村軍門ヘ降伏仕候事
一同七月下旬日向佐土原竹淵熊本出張本営ヨリ池
邊吉十郎ハ脱走致候趣ニ候得共其節自分ハ高
鍋熊本本営ニ相詰メ罷在候間其手続等ハ存不
申然ル処同人儀ハ未タ行衛相分ラサル趣ニ之
レアリ候事

右之通相違不申上候以上

明治十年十月九日

櫻田惣四郎

西郷隆盛ノ逆意ニ與シ池部吉十
郎ヲ佐ケ兵器ヲ弄シ衆ヲ聚メ
其本営ノ参謀トナリ官兵ニ抵
抗スル者
朝憲ヲ紊乱セシコトヲ企兵器ヲ弄シ
衆ヲ聚メ以テ官軍ニ抵抗スル従
ニシテ首ト同ク畫策ヲ主ル者
除族ノ上
斬
櫻田惣四郎

熊本縣士族

櫻田惣四郎

其方儀西郷隆盛等ノ逆意ニ與シ兵器ヲ弄シ衆ヲ聚メ大隊長池部吉十郎ヲ佐ケ其本営ノ参謀トナリ官兵ニ抵抗スル科ニ依リ除族ノ上斬罪申付ル

明治十年十月三十一日

熊本縣第一大區八小區
龍迫谷二百四拾壱番地
士族
大里八郎
四拾一年四ヶ月

一自分儀方今ノ御政体上ニ付テ意見之アリ時機アラハ身命ヲ擲ケ素志ヲ貫カント存シ居候處本年二月中旬日失念西郷隆盛兵ヲ率ヒ途ヲ熊本ニ取リ東上スルトノ風説アリ然處同廿日頃ト覚池邊吉十郎ニ面会致候処同人ヨリ今般大久保参議并ニ川路大警視ノ両人窃ニ人ヲ遣リ陸軍大将西郷隆盛ヲ暗殺セントセシ陰謀發露

シ其始末県同ノ為ナ私學校徒ヲ引率
途ヲ熊本ニ取リ東上近日當縣ニ着スル趣
承リ初メテ西郷出京スルノ原由ヲ知リ
實ニ義擧ナリト存シ自分等ノ素志ヲ遂スルモ
此時ニアリト池邊ニ相答ヘ其日ハ相別レ申候處
西郷ノ先鋒川尻ニ着シ臺兵ハ熊本城下
ノ人家ヲ焼拂ヒ自然籠城ノ備ヲ為シ縣官
ハ縣廳ヲ御船ニ移シ然ル處同二十三日ト覚竹宮
ニ於テ同志池邊等ト會シ斷然隆盛ニ應スルノ
ニ決シ初メテ隊ヲ組ミ池邊吉十郎ハ大隊長
トナリ自分并ニ櫻田惣四郎山崎貞平
緒方武門ハ參謀トナリ同廿六日玉名郡寺田
ニ於テ官軍ニ抗敵シ同廿七日ヨリ四月十五日
迄山本郡木留ニ滞陣ス夫ヨリ木山矢
部馬見原等ヲ經テ五月一日人吉ヘ轉
陣夫ヨリ處々轉戰同七月下旬日向國
佐土原竹淵村ヘ熊本本營ヲ設ケ其節自
分ハ監軍ニ轉シ同日ヨリ各隊ノ哨兵場ニ出
張西三日ヲ經テ帰營候處池邊吉十郎ハ
他行ノ儘帰營不致旨承リ候間其近傍ハ
勿論來々探索致候得共終ニ行衛相分
不申付テハ山崎貞平池邊ノ代理トナリ百事
同人ノ指揮ヲ受ケ罷在候中前非後悔同
八月十八日日州永井村軍門ヘ降伏仕候
事
右之通相違不申上候以上

明治十年十月九日

大里八郎

西郷隆盛ノ逆意ニ与シ池部吉十郎ヲ佐ケ兵器ヲ弄シ衆ヲ聚メ其本営ノ参謀トナリ官兵ニ抵抗スル者

朝憲ヲ紊乱センヿヲ企兵器ヲ弄シ衆ヲ聚メ以テ官軍ニ抵抗スル従ニシテ首ト同ク畫策ヲ主ル者

除族ノ上

斬

大里八郎

熊本縣士族

大里八郎

其方儀西郷隆盛等ノ逆意ニ與シ兵器ヲ弄シ衆ヲ聚メ大隊長池邊吉十郎ヲ佐ケ其本營ノ參謀トナリ官兵ニ抵抗スル科ニ依リ除族ノ上斬罪申付ル

明治十年十月三十一日

九州臨時裁判記事

明治十年四月二日九州地方國事犯賊徒處刑之
儀征討総督有栖川宮ヱ委任セラレタルニ由リ勅録
其指揮ヲ受ケ夫々可處分旨京都行在所ニ於テ
命ヲ奉シタリ岸良検事長小畑判事大塚判事
馬屋原書記官等モ亦各命ヲ受ル所アリ相共
ニ任ニ九州ニ赴キ直チニ総督宮ニ熊本ニ謁シ裁
判上便宜處分ノ委任ヲ受ケ先ツ九州臨時裁
判所ヲ福岡ニ設ケ該地ノ犯賊ヲ處断シ其聚
黨ノ山口縣ニ預ケアルモノハ大塚判事馬屋原書
記官等ヲ派遣シテ之ヲ處分シ畢リ尋テ廳ヲ長
崎ニ移ス是ノ時ニ當テ征討之官軍既ニ鹿児島

ヲ以メ賊徒ノ裁判ヲ要スルモノアルヲ以テ裁廳ヲ該地ニ開カサルヲ得サルニ由リ小畑判事ヲ長崎ニ留メ事務一切ノ調理ヲ委託シ敏鎌岸良検事長大塚判事ト共ニ鹿児島ニ赴キ河村参軍及ヒ岩村鹿児島縣令等ニ協議ヲ遂ケ裁廳ヲ共ニ設ケ大塚判事ヲシテ其事務ヲ擔當セシム敏鎌ハ直チニ鹿児島ヲ去テ熊本ニ至リ將来ノ目的ヲ総督宮ニ稟ケ處分ノ緩急ヲ山縣参軍ニ議シ杉本検事ニ事ヲ授ケテ長崎ニ還ル是レヨリ先キ征討総督ノ本営ヲ熊本ニ移スヤ臨時裁判出張所ヲ熊本ニ置キ杉本検事南部判事等ヲシテ賊徒ノ糺問ニ従事セシム馬屋原判事モ亦御用掛ヲ以テ熊本ニ来リ杉本検事等ノ列ニ加ハル戸田書

記官ハ臨時御用掛リノ命ヲ受ケ常ニ総督本営ニ在テ文書往復等ノ事ニ任ス其後加納検事ヲ鹿児島ニ派遣シ大塚判事ト共ニ其事ニ従ハシム本年五月廿九日山口ノ事起ルニ及ンテ馬屋原書記官等ヲ派遣シテ其暴徒ヲ糺問シ敏鎌自ラ馬関ニ至リ甘結ノ口供ニ就テ擬律ヲ與ヘ之ヲ発落セシム其際大分縣ノ犯賊モ亦處分ヲ要スルニ由リ岸良検事長大分ニ出張シ臨時裁判出張所ヲ開ク尋テ馬屋原書記官等モ大分ニ轉シ同ク賊徒ノ糺問ニ従事ス七月四日征討総督宮長崎ニ至リ獄庭ニ就テ賊徒ノ糺問ヲ親聴セラレ数日ニシテ熊本ニ帰営セラル幾モナクシテ山口ノ残賊数十名傳ニ就キタルヲ以テ更ニ小畑判事ヲシテ其地ニ就テ之ヲ處断セシム

又橋口撿事ヲ鹿児島ニ派遣シ加納撿事ニ代ラシ
メ加納撿事ハ更ニ大分ニ出張セシム本年八月ニ至リ征
討ノ官軍連リニ勝ヲ奏シ賊徒僅ニ日州ノ一隅ヲ
死守シ其縛ニ就クモノ降伏スルモノ絡繹軍門ニ絶
エサルヲ以テ悉ク之ヲ鹿児島出張ノ臨時裁判所ニ致
スヲ得サル而已ナラス之ヲ処分スルニ當リ其軽重差
異ニ於テ総督宮ニ稟議セサル可ラサルモノアリ且ツ熊
本出張所モ亦処分ヲ要スルモノアルヲ以テ熊本出張ノ
事ハ之ヲ小畑判事ニ委シ敏鎌ハ八月三日ヲ以
テ長崎ヲ発シ先ツ鹿児島ニ至リ副官ニ協議
シ尋テ総督宮ニ都ノ城ニ謁シ決ヲ取ル所ロアリ
更ニ出張所ヲ日州宮崎ニ置キ寛判事ヲシテ其
事ニ従ハシメ敏鎌ハ直チニ長崎ニ還ル然ルニ日
州ノ地タル長崎ヲ距ル殊ニ遠ク賊類ノ多キ犯情
ノ異ナル亦他ノ比ニアラス自ラ便宜処分ヲ為サヽ
ル可ラサルモノアルヲ以テ之ヲ岸良撿事長ニ委託
シ宮崎ニ出張セシメ杉本撿事モ亦熊本ヨリ宮
崎ニ到ラシム是レヨリ先キ三好判事ハ九州臨
時裁判出張ノ命ヲ受ケ長崎ニ至ル故有テ軍
務ニ従事スル者数月其事全ク畢リ帰任
シタルヲ以テ直チニ之ヲ熊本ニ派遣シ杉本ニ代
テ其事務ヲ執ラシム各出張所ニ於テ賊徒ノ
口供既ニ成リ懲役一年以上見込ノ分ハ直チニ
之ヲ長崎ニ護送シ小畑判事等ヲシテ擬議セ
シメ以テ之ヲ定奪シ遠隔ノ地方ニ押解スルヲ以
テ規トス九月一日残賊鹿児島ニ突入スルヤ大塚判

事橋口検事等一旦難ヲ汽船ニ避ケ遂ニ長崎
ニ帰航スト雖𪜈猶地ヲ鹿児島近傍ニトシ裁
廳ヲ開カシカ為メ先ツ大塚判事ヲシテ加治木ニ
赴カシム是ヨリ先キ岸良検事長ハ宮崎ヨリ加
治木ニ至リ縣官及ヒ警視官等ニ協議シ臨時
裁廳假設ノ地歩ヲ為シ之ヲ長崎ニ報ス會大
塚判事加治木ニ着シタルヲ以テ相議シテ廳ヲ設
地ニ開キ岸良検事長ハ直チニ宮崎ニ還ル其報ヲ
得ルヤ即チ橋口検事等ヲシテ又其任ニ帰ラシム
本年九月廿四日賊徒全ク剿滅ニ帰シ征討総
督宮モ九月廿九日ヲ以テ長崎ニ航シ鞫録ニ委託
スルニ逮ニ賊徒ノ處刑ヲ終リ復命スヘキヲ以テ
シ直チニ凱旋セラル鞫録其命ヲ各出張所ニ傳

フ出張ノ諸員皆其旨ヲ体シ尚一層日夜ノ勤
勉ヲ加ヘ大分熊本ノ出張所ハ十月十日ヲ以
テ處分ヲ終リ宮崎ハ同十二日ヲ以テ事務
ヲ収メ鹿児島ハ同廿日ヲ限リ解廳シ出張
官悉ク長崎ニ還ル罪囚ノ各地ヨリ長崎ニ
送リ来ルモノ陸續断エス鞫録小畑判事ト
共ニ之ヲ擬議シ随テ至レハ随テ断シ終ニ明
治十年十月三十一日ヲ以テ全局ヲ畢ヘ残務ヲ
杉本検事中島判事等ニ託シテ将サニ復命セ
ントスルニ臨ミ福岡長崎山口大分熊本鹿児
島宮崎等ノ各地ニ於テ處断シタル所ノ概表ヲ
製シ以テ九州臨時裁判所處刑ノ全面ヲ一覧ニ
供セントス抑律ニ依テ罪ヲ断スル前後一轍彼此

国立公文書館
National Archives of Japan

異ナル無キヲ要スルハ固ヨリ言ヲ待タスト雖モ其情ノ由テ起ル所甚タ同シカラス時勢ノ緩急モ亦大ニ異ナル所アルヲ以テ同ク是レ國事犯賊ナルモ福岡山口中津ノ賊徒ヲ處スルハ熊本大分（中津ヲ除ク）鹿児島ヨリ重カラサルヲ得ス何トナレハ則初メ鹿児島賊徒ノ熊本ニ乱入スルヤ九州一般物議騒然タリ然ルニ征討ノ官軍陸續道ヲ筑ノ前後ニ取リ征討総督宮モ亦本営ヲ福岡ニ置キ諭達ヲ四方ニ発シテ士民ノ方向ヲ定ム是ヲ以テ熊本縣人ヲ除クノ外未タ一人ノ薩賊ニ應スルモノアラス是時ニ方テ福岡ノ士族等陰ニ逆意ヲ企テ官兵皆戦地ニ赴キ征討惣督本営モ亦南関ニ移ルヲ待チ其虚ヲ窺ヒ鎮台分営及ヒ縣廳

ヲ襲ヒ銃器弾薬軍資金ヲ奪ヒ海峡ヲ扼シテ以テ遥ニ薩賊ニ應セントス山口ノ賊徒モ粗其意ヲ同フスルノミナラス縣中往々再ヒ國事犯ヲ為スモノアリ中津犯賊ノ如キモ亦遥ニ薩賊ニ應セントシ頻リニ波濤ヲ平地ニ起ス其情甚タ悪ムヘクシテ其罪固ヨリ誅ニ容レサルモノアリ熊本ノ如キハ稍此ニ異ナリ薩兵大挙熊本ニ入ルヤ縣廳ハ解散シ鎮台ハ籠城シ人民流離困厄ノ状言フニ忍ヒサルモノアリ是時ニ方テ不平士族ノ異志ヲ懐ク者或ハ名ヲ鎮撫ニ假リ或ハ義ヲ保護ニ託シ衆ヲ聚メ兵器ヲ弄シ陰ニ賊徒ノ應援ヲ為スト雖モ随行ノ徒ニ至テハ多クハ畏懼ニ出テ或ハ脅誘ニ係リ時勢不得止ノ然

国立公文書館
National Archives of Japan

ラシムルモノナキニアラス大分県人中津隊ノ賊徒ニ
共ニスルモ亦皆賊ノ為メニ其地ヲ蹂躙セラレ只
其命ニ之レ従ハサルヲ得サルノ勢ニ出ツ鹿児島県ノ
如キニ至テハ県庁ノ布達ヲ以テ士民ヲ鼓動シ区戸
長ノ職務ヲ以テ募兵ニ従事シ威ヲ以テ之レニ迫
マリ勢ヲ以テ之ヲ壓シ苟モ其意ニ應セサルモノハ
人類ヲ以テ歯セス甚キニ至テハ其命ヲ拒ム者ヲ斬
テ県下一般ニ徇スルモノアリ誰レカ敢テ其脅迫ニ恐
レサルモノアランヤ情ノ由テ起ル所如此其レ同シカ
ラス勢ノ緩急モ亦如彼其レ異ナル所アルヲ以テ
福岡山口中津ノ賊徒ハ一兵卒ト雖モ之ヲ懲役
ニ処シ熊本及ヒ大分鹿児島ハ概子分隊長以上
ヲ罪シ其以下ヲ責メス其脅迫ニ係ルモノヽ如キ
ハ分隊長以上ト雖モ尚其罪ヲ酌減スルモノア
リ然レモ一旦自首降伏シテ再ヒ賊徒ノ募ニ応
スルモノハ直チニ之ヲ律ニ問ヒ敢テ之ヲ全免セス
擬スルニ福岡賊徒ノ例ヲ以テス然レ其処刑ノ表
面前後異同アリ罪ノ軽重彼如此懸隔スル所
アル所以ナリ故ニ今各地処決ノ刑名及ヒ人員ヲ
区別シ併セテ其統計ヲ表スル別冊ノ如シ

明治十年十二月九日

元老院幹事河野敏鎌

陸軍大将兼議長議定官二品大勲位親王熾仁殿

九州臨時裁判所裁断表

除族以上 千九百四十一名
免罪 三万五千九百十八名
無罪 二百九十五名

總合計
三万八千百五十四名

表面ニ揭ル福岡山口其外ノ地名ハ必シモ其地ノ人ヲ科断セシニ限ルニ非ス該地裁判所ニ於テ所断セシ人員ヲ標出スルモノナリ

	斬罪	懲役十年	懲役七年	懲役五年	懲役三年
福岡	五名	十名	五名	二名	
山口	四名	二名	一名	三名	
熊本	一名	二名		三名	
大分	一名	二名		十九名	
中津					
宮崎					
鹿児島					
長崎	九名	十二名	四名	廿九名	

五名	十三名	五名	十五名	三名			二百七名
懲役二年 三百卅七名	同 十五名	同 六名	同 二十三名	同 十一名	同	同	同 五百三十四名
懲役一年 六十七名	同 二十九名	同 八名	同 三十名	同 九名	同	同	同 二百十名
懲役百日 二名	同 九十名	同 二名	同 十五名	同	同	同	同 九名
懲役七十日	同	同	同	同 二名	同	同	同
懲役三十日	同 二名	同	同	同	同	同	同
除族 二十七名	同 七名	同 九名	同 二名	同 一名	同	同	同 六十一名
収贖 二名	同 九名	同	同	同	同	同	同
贖罪	同 九名	同	同	同	同	同	同
捧鎖 一名	同	同	同	同	同	同	同

斬罪	二十名
懲役十年	二十八名
同七年	十名
同五年	八十六名
同三年	二百卌八名
同二年	九百卌六名
同一年	三百五十三名
同百日	一百十八名
同七十日	二名
同三十日	二名
除族	百七名
棒鎖	一名
贖罪	九名
収贖	十一名

合計千九百四十一名

	福岡	山口	熊本	大分	中津	宮崎	鹿児島	長崎
免罪	二十五名	六十一名	千四百四十名	二千七百四十一名	六十三名	一万千四百九名	一万九千六百一名	五百七十八名
無罪	二十八名	六名	九十八名	百八名	二十三名			三十二名

合三万五千九百十八名

合二百九十五名

合計三万六千二百十三名

斬罪 懲役十年 同七年 同五年 同三年 同二年 同一年 同百日 同七十日 同三十日 除族

越智彦四郎 森寛忠 畠栗太郎 大木彰之丞 綱分政太郎 岡部屹 堀武吉 高野俊明 後藤仲吉 徳永起走

久光忠太郎 加藤大三郎 船越関道 久野一栄 徳永循夫 藤村助七 中村藤三郎 吉田杢左ヱ門 阿部亀吉 恒屋源三郎

村上彦十 八木和一 森震志 以上福岡 大野伊太郎 高田孫市 喜多嘉之 以上福岡 以上中津 池野董策

加藤堅武 花房庸夫 渡邊佳虎 玉屋梅吉 福田静雄 高田保二郎 松尾栄太 長安虎槌 金子清七 花房一志

武部小四郎 有馬彦馬 武部彦麿 池田耕二郎 久野半郎 高原彦江 百野楳三郎 小野政輔 原萬次郎 田中規

以上福岡 竹内恒三郎 以上福岡 伏見亀蔵 以上福岡 吉村 参 東江孫三郎 山本治丞 以上山口 萱四郎

田中園亮 財津十郎 吉村育熊 以上山口 吉屋百松 横田 徹 高原和五郎 徳若屋弥吉 木村信夫

大多和道輔 吉田虎彦 以上山口 内藤儀十郎 石丸弥一 肥塚岩太郎 早川琢造 溝口多三郎 徳永七五郎

井上次郎 中村直行 長倉 認 下田一巳 松屋忠吉 高瀬美次郎 三宅 夬 高津三五郎 荒巻辰五郎

大和來三 林 七郎 伊東直記 金津 靖 西村孫一 曲渕磯次郎 三隅 茂 三宅甲兵衛 濱地正之助

以上山口 以上福岡 川嵜新五郎 以上熊本 田中義衛 藤田正人 大隈徳二郎 金子直吉 永野二郎

上田 休 秋枝巳之助 伊東祐兼 岩間半郎 三輪源治 葦田幾雄 廣川藤太 山中貞吉 平岡道吉

以上熊本 金壽傳之助 以上長嵜 牧柴鐵十郎 萬西信敦 松尾用六 高木源蔵 長嶺吉蔵 青柳本郎

堀田政一 以上山口 太田 保 坂本力吉 末田多助 讃井休七 尾川吉太郎 山本巳百

四

以上大分　野上文九郎
大山綱良　筑摩宗太郎
坂田諸潔　以上大分
後藤純平　米山秀男
池部吉十郎　野嵜藤次郎
石井貞興八　以上中津
友成正雄　山東清武
松浦新吉郎　多田成信
櫻田惣四郎　吉永秀武
大里八郎　小倉啓助
以上長崎　藁谷英孝
河野主一郎
林　政八
松岡蠲醒庵
田島武馬
佐々干城
佐々友房
越山休蔵
以上長崎

深野一三　鮎川義輔　横田　信　大隈俊二郎　東次郎右エ門
財津永喜　藤原照四郎　岡松早苗　石川新五郎　堀　栄吉
大矢野源八　大谷福松　青柳松次郎　讃井平一　宮野源二郎
石原保茂　末松長吉　横田吉三郎　結城喜平　森清四郎
猿木勝馬　中村燧松　橋本三五郎　相川徳次郎　林　新吉
古賀俊雄　以上山口　森　正已　白石平之允　松屋初五郎
上村深造　松原芝平　船越徳二郎　尾本吉次郎　中村善七
杉本良吉　那須拙速　末永栄生　保田　保　岡村次郎吉
佐藤亀四郎　犬童治成　松尾義見　丸山林康　齋藤與吉
阿部省吾　猿木宗那　長瀬義次郎　藤村太三郎　中村久吉
山本欽治　平井甚十郎　堤猿次郎　小笠原吉太郎　笹村善助
樋口重茂　以上熊本　栗本胄雄　高田俊太郎　福光九十郎
村松義直　高島義恭　秦喜四郎　田原養生　増見藤十郎
河野最一郎　河井昌一　千田魁見　小川新六　末永利吉
中村信雄　原田十太郎　佐藤信麿　宮嵜謙吾　山本亀蔵
田中賢道　荒巻照門　白水為雄　西村　桂　河村傳次郎
以上大分　南方　寛　占部龍五郎　野田致彦　田向忠兵衛
内迫甚門　野田是内　天野重雄　内海重男　大村瀧蔵
野村盛賢　下河邉次郎太郎　建脇惣太　吉田　雅　松岡新蔵
有馬雄助　可児才八　真鍋　真　松尾　梓　金子與惣
橋本諒助　二見　乳　一瀬　勵　田中賤男　赤嵜仙次郎
伊集院英輔　吉田傳太　中野傳三郎　勝野　廣　室積福松
児玉八次　山縣彦次郎　井上平助　二川鯉三　西村佐蔵
米良一穂　河野義俊　原田弥蔵　東江三九郎　長安虎吉
金田　徴　沼田常雄　大神　登　陶山八十郎　大谷徳七
長谷場純尚　戸倉仙太郎　平川喜之次　四宮万七　寺戸久兵衛
原田永次　高嵜義喜　小村直太郎　久保山能衞　長尾弥八
伊藤祐貞　以上大分　八尋　豊　藤木直太郎　柏屋政吉
林　一郎　笹部宅雄　原田重実　飯田知栄　村岡才吉
益山慶輔　高梨久治　鈴木立樹　梶原景廣　中尾福松

宮嵜　捻
月形雅次郎
冨田　蛟
梶川　作
有吉春太郎
児玉熊樹
高津熊雄
徳永克巳
渡邊弥栄
早川梅太郎
山下虎蔵
小川　渉
岡本仁四郎
以上福岡
武安源二郎
井上孫六
千倉傳蔵
桑原秋竜
周田由亮
重富與三
永田專吉
以上山口
吉田　勤
岩橋彦作
野間常太郎
赤阪孫六
窪田長保
大津嘉蔵
金津是次郎
志方之前

本城伊之助	植木義馬	高木重吉	玉井謄一郎	松田喜五郎	宮部市家
八木信行	以上中津	西沢久太郎	吉住弥藏	中尾金左衛門	以上熊本
竹原半五衛	窪田兵衛	岩田作太郎	笠柴準之助	水本多吉	吉田弓絃
深江孝藏	天辰太左衛門	毛利伊之助	橋 種虎	植村善吉	藤本源太郎
小濱半之丞	八木豊治	江浦孫太郎	毛利元樹	山本友吉	以上大分
梅田剛八郎	黒瀬左衛門	大久保七郎	江藤 修	西村壽之助	児田清七
芒間道心	江田 基	井上勝之助	長野重実	松野良吉	以上中津
長野祐之	竹下六郎	宮原徳三郎	筒井 勝	村晃三郎	小川與三次
東郷實平	肥後直治	大神三太郎	味岡俊太郎	藤山梅吉	石神英以
海田治智	郡山誠治	北山八五	味岡美徳	芳川勘藏	宮原新助
木原武志	伊東祐啓	佐藤禹雄	竹森次郎	大島章吉	池田彦太郎
竹内嘉平次	和田 勇	佐々川一作	増山芳助	芳川安次郎	是枝陽之助
和田一平	竹添 節	中野三七郎	野田一真	吉村松次郎	永池庄太夫
和田諸以	阪元正一	本松太五郎	石田弁之助	竹内又四郎	遠竹嘉壯太
和田一作	日高義正	香田信之助	京極義和	紫壽男藏	市瀬勘以
深見有常	前田貞一郎	大神市三郎	榊 整	増野直太郎	小原良行
別府九郎	石井平三	内田壯五郎	平井龍雄	鎌田徳藏	石踊 恰
神宮司聖衛門	龍岡資時	成住藤五郎	田鍋鶴谷	竹下新吉	野村發之進
松下助四郎	神田橋正吉	岩本二一	松下乾三郎	宮野市藏	万膳栄助
右松祐永	松元直之丞	高橋 道	中島 総	久保虎吉	永野新助
肥後壯之助	岩崎武平	中島庸三郎	岡部六太郎	片山久吉	中尾亮左衛門
飯牟礼作左衛門	横山賢次郎	八田謙次	尾形 到	村上大吉	伊集院季徳
竹内武繁美	田中豊彦	安斗一之	箱田六輔	金森平吉	古江次左衛門
深水喜平	阿万甚五郎	高山義一	以上福岡	伊藤弥吉	山下 禺
栖原宗敬	鮫島藤一郎	山路三十郎	津田浅吉	小島利吉	壱岐孫二
高田露	樺屋兼明	井上定規	服部道五郎	酒井智学	川村金藏
泥谷直養	木佐貫助一	石原 栄	富田與作	岩本與吉	野呂常人
山下鐘藏	加藤彦十郎	松尾武勇	山本吉五郎	齋藤茂左衛門	花田岩平
原田種光	三原直記	小林善三郎	東村信吉	藤枝與七	藤井直吉
黒水長愷	是枝吉藏	真鍋義雄	大谷千代吉	大嶋梅次郎	前田左内

四

武藤東四郎　土岐半助　藤田満　南原益蔵　田中養太郎　有田宗一
神代勝彦　平山佐八郎　大野勝弥　水津惣吉　吉屋松之助　大谷忠左衛門
石井阜巳　伊知地敬輔　大神正身　山本壽左衛門　田村七蔵　森田半兵衛
荒巻重三郎　杉野逸蔵　横井豊　長尾辛七　中村忠吉　園田嘉右衛門
畠吉左衛門　東九郎次　畑島三郎　佐禾文次郎　長尾次郎吉　東栄二
重久敬二　鈴木重弘　竹内与七郎　下瀬虎吉　山中庄吉　曾木正之助
仁礼猶助　瀧川俊蔵　木下伊之吉　関屋金熊　波多野芳吉　川口新助
野村三郎次　岸本源七　笹嵜駒三郎　福田虎之助　小島友之進　國分覚一
新納肇　大野倫安　小林茂平　金子正　光永市次郎　志賀棟蔵
守永守　前田重正　白水再之吉　中沢正人　大谷市蔵　中摩善左衛門
樋渡重邦　境田勇次郎　岡村惣作　大谷治郎　前田市兵衛　塚田賢石
石川駿　片野坂弥左衛門　青柳砂　粟屋正一　斎藤政蔵　千田正兵衛
菱刈良之助　藤田熊助　野口茂　石田米蔵　田村初蔵　國分仙蔵
宗像政　曾木隆宣　宮内六合彦　大津熊吉　佐々木幸吉　宇都傳左衛門
野満長太郎　服部良之助　八壽親助　井町好松　石丸虎蔵　池田喜助

大原一二三　岡本孝左衛門　安永守太　川口清槌　田村茂吉　東茂六郎
以上長嵜
茶木運蔵　水島清　藤井常吉　伊藤友吉　野口武八
肝属琢磨　小野熊太郎　白井倫三　赤木徳蔵　浅川勇助
鶴田善市　寺田栄　松村通太　石丸吉五郎　若松孫左衛門
若松親豊　吉田富八郎　福井勘七　以上山口　永井善八
鮫島敬輔　當部四郎　大橋三吉　内田虎次郎　楢木源八
平田幾之助　丹羽哲郎　荒瀬龍吉　前田再平　山内藤助
松田正之丞　小田部好太郎　田代音松　以上熊本　頴川守兵衛
瀬名才蔵　大庭壽三郎　以上山口　深田萬三郎　阪本十二
今給黎久清　柴田通　河田勝衛　田島善助　植村栄蔵
谷村助七　平嶋九郎　宮川三郎　小野半祐　谷口平兵衛
長谷場純孝　半田熊次郎　真瀬一次　野々下梯太郎　新穂喜藤太
松田弥左衛門　清水茂登太　岡本源次　野々下治三郎　上床恕兵衛
山下賢武　廣田三五郎　丸尾静　藤田源治　佐賀林兵衛
山城軌　高崎喜八郎　東真五郎　天野辰平　坂本禎蔵

四

新納観二　柴田才作　加来権九郎　多田栩平　前田善兵衛
桑波田景左　市丸義彦　佐々布遠　後藤常八　黒木源八
小森善一　森小新吾　以上熊本　池田一郎　神田宜智
岩切正九郎　上田登四郎　汐月伴蔵　内田與市　永田伊左衛門
木村喜惣太　管新平　藤田栤策　深矢善太　佐多弋之助
柚木崎正因　函田信夫　延田穀　飛川儀八　長倉祐弥
志岐喜平太　毋貫太郎　佐藤太作　平川弥市　瀬戸山清
河辺敏公　森捨雄　猪狩勝重　新宮源吾　石川次兵衛
宮里教双　登坂吉次郎　高橋長秋　以上大分　以上長崎
三宅住冨　讃井八百日　大塚五郎　建部新郎
石井習吉　小林義盛　辛島奠蔵　内山只八
有馬純秀　葉山義信　仲光正勝　荒尾俊太
執印甚助　永冨昌　平井良樹　飛鷹如矢
永井利峻　下司喜八郎　美濃部嚴夫　水橋弥久馬
小山直方　松尾與六　渡辺七衛　吉見文五郎

弁保　泉吉左衛門　一村克巳　東弥三郎
鶴田六郎　平川登作　丸山小七　島田周次
賀来信門　吉安長吉　牧植蔵　塘居保
鬼丸五助　中村利吉　税所助太郎　以上長崎
壱岐尚行　吉永一　高橋俊次
鎌田政武　友納桂　築山英太
徳丸吉蔵　早川友三郎　筑紫弥一
大島景保　衣笠忠吉　加賀山克巳
岩川均　岡喬　門地高行
池上助二　堀卯十郎　冨田新三郎
渕脇善助　井原澄太郎　土橋栄吉
濱田良啓　小野義見　福田新九郎
上田徳二　瓜田良吉　西沢弥平太
谷口藤次郎　青柳藤次　牧信文
大山末吉　松尾亀吉　西森清一

石塚七郎 清水三郎 大塚元吉
大久保越吉 高山士 中林駒八
春田吉二 上田栄次郎 上村角家
松下惣外 神寿潜一郎 以上大分
細山甲兵衛 吉村登一郎 栗重俊
深見八太郎 陶山栄吉 永田藤造
朝稲孫左衛門 安部謙三郎 高橋廣
山下勇次郎 清原太作 封戸忠吉
松本末吉 三角八十吉 渡辺源平
重久純孝 永野外作 末廣栄吉
白阪篤也 伊藤悲 山田勅次郎
小倉助次郎 原五郎 松下伊之助
荻野吉次郎 佐竪積 下田八三郎
杦寿喜次郎 西尾貞吉 以上中津
唐鎌岩助 徳永伊七郎 山下盛業

宮春政左衛門 貫龍雄 阿部安敦
宮春嵩次郎 樋口信樹 田中九八郎
中村一兵衛 岩室文太 平林忠恕
平嶺万治 栄田兼吉 泥谷新
永田八兵衛 高城安吉 細留正信
野島与八郎 吉安代四郎 桂木良耀
島山三二 久野生木 齋藤実猛
塩田是九 佐藤良太郎 尾上吉志
後藤寅次郎 八木練 天辰民左衛門
鷲山九左衛門 田川蕾四郎 九月織左衛門
塩田傳次 高木峻 柳田貫左衛門
川野傳二 阿部五一郎 前原俊助
鳥山小藤 福山盛生 福山善吾
大村彩左衛門 庄寿栄吉 四本杏哉
後藤休七 濱地織太郎 梓山伊左衛門

永田半太夫　渕上久太郎　和田幸兵衛
池来須佐水　平石源太郎　赤嵜権蔵
坂本良一　中山繁　川野伊右エ門
野村綱雄　藤村与作　加藤覚左エ門
鶴田貞直　山内義雄　和田治右エ門
龍岡直記　野村岩熊　白尾実記
有馬純信　太田繁次郎　田中太左エ門
黒木源次　岡部三郎　永田幸四郎
瀬名浜左エ門　清水岩吉　小田原孝順
安藤幸彦　島六郎　平峯利高
土持信　井上駒太郎　指宿孝助
永井寶功　松尾五郎　山口喜右エ門
平田宗正　妹尾鷲丸　石塚甚助
山下兼重　加来与八郎　岩切清兵衛
神徳寺正利　村上総　長峯正貞
時任高綱　吉安伊太郎　加塩棟巳
小田良輔　林鱗之助　成尾藤市
松本利器　大神直吉　中馬八郎
野嵜堅盤　中村栄蔵　嵜源右エ門
桑原種勝　井手田福太郎　神嵜周平
安藤利猛　石松金次郎　古屋於兎七
待木當典　吉岡曽七郎　河野徳太郎
深川淡水　池田久吉　肥田景敏
阿根良愛　井上新三郎　池田貞英
今村市郎右エ門　栗林茂実　貴島要之助
野尾源吉　深川盛都　平山弥七郎
指宿貞萬　清水愛　日高昌
川邊斎輔　福永実　田代鴻三
相良次太夫　長谷彦太郎　東郷重郷
添田雄七郎　浅島久　竹下小平

国立公文書館
National Archives of Japan

牧瀬書左衛門	原田定	山下覚夫
隈元一	安永壽	榊六助
今藤宏	片岡徳太郎	池田軍次
松元武雄	大木政雄	日高藤一
山下幸右衛門	岩崎清吉	蓑輪孫六
池水友之進	疋田禁	松下兼丈
前田軍左衛門	伊藤蔓吉	宮原亮助
和田用一	明永冊三	松山八郎兵エ
前田重本	菅安虎二郎	海老原羊助
入江十郎太	槇増次郎	野崎冊左
野元十郎	石津直五郎	神田橋助護
宗像景雄	川嵜始	内山八郎
深川権助	野坂穂外	上村治左衛門
大岩根又三	福竹武平	渡辺正親
塚本長氏	上田伊与吉	渡辺教孝
片岡精一	多久虎作	赤星清
大島味膳	岡本善十郎	河野徳之丞
柴田敬	大神茂	建部七八
池内盛美	福田弥一郎	三潴栄次郎
井上勝利	左専蔵	西川加雲
長谷川縁	山嵜仁太夫	木村謙太
白尾國芳	陶山仁兵衛	佐藤一弘
古川勝次郎	城戸壽	安藤醇次
野尻勝蔵	杦梓	鬼丸源作
楠岡文吾	野村翔	阪梨惟修
海老原源太	大岡説七郎	三宅時宗
河野道員	中野震太郎	西浦流藻
福嵜直彦	松本俊之助	奈良迫册助
川嵜無竜	杦原廉	万膳正蔵
印道弥三郎	浦上勝太郎	木作木平

大給良義昌　高田徳一郎　海老原盛平
隆閑内　藤廻矩太郎　小谷董左衛門
児玉良三郎　大野小牧　饗庭七郎左衛門
久留景寛　吉浦栄之介　森　善蔵
讃良貞信　近藤直五郎　原口源太
山内哲騰　伊能卯吉　田代周一郎
篠崎正太　堀尾沢三郎　有道重善
竹廻武重　安田三郎　山寿実信
内田武夫　八田龍見　桑幡孫七
三宅新五郎　石津金吾　図師静嘉
舩路運雄　鮎川舟之助　上村昌盛
永峯信清　山寿七郎　深川彦八
松寄善兵衛　市川喜八郎　池田盛直
高橋兵次郎　渡辺逸郎　有馬純孝
池田磐　山寿詰三　前田佐左衛門
郡司新　清水漢　松本良右衛門
阿多慶二　高田兎九　今給黎叶衛
加治淳　高田勝四郎　中村源蔵
荒武勇記　讃井七次　谷村純孝
小牧秀発　白水瀾　肝付吉次
南四左衛門　佐野早太　黒木傳
田中登　廣羽八千郎　小原武七
中川濤太郎　梁瀬直　岩倉新四郎
田村利貞　平田権　厚地喜之助
安藤武宣　高島小三郎　池田甚左衛門
竹下仙左衛門　大賀悦郎　池水兼数
大峯兼昭　讃井羊蔵　上野平太郎
長崎信夫　池田唯七郎　中村政常
本田早苗　井上直吉　蜂須賀助治
以上長崎　伊舟氏家　鬼束綱義

大神範造　宇津連
尾形房雄　秋丸郎
松本亦三郎　高橋専太
有田鎮八郎　池上市助
平山源七　阿久根甚三馬
真鍋源一郎　相良休介
友池砂　宮原健吉
冨田亀太郎　簑田太郎
樋口六郎　篠宮直次
渡辺定　堀内阜次
白水新太郎　合志弾蔵
城島房吉　高木敬助
大原六三郎　小城愛兵衛
曽根田藤吉　中島直太郎
岩室甚右衛門　阪本金之丞

友納長太郎　吉津和門
高鍋松太郎　岩尾弥四郎
安川惣六　中村厳
柴田守　中村栄蔵
笠玉雄　原田源太
伊藤浪苑　肱岡卯十郎
吉野順太郎　山本伝太夫
岡嵜精造　服部権之丞
山嵜辰巳　玉置政直
横田芳穂　中村金五郎
徳永六郎　平山庄之丞
坂井雄次郎　橋口吉二
平田文四郎　留市郎左衛門
岩佐新三郎　穎川徳幸
花房正義　宇都源之丞

石川早瀬　市成弥助
末永巴　福永十郎
宮嵜樵　愛甲穣太
友納徳郎　津嵜英吉
中村茂八郎　津嵜直助
久田全　九田秀二
米沢生三　有馬静治
眞達平右衛門　河野悦兵エ
狩野矜之助　二宮可悦
阿部勘次郎　木佐貫清八
濵地栄助　大重庄五郎
讃井弥市　荻原金右衛門
原口政次郎　野村仲吾
井本与平　藤田彦右衛門
吉嵜清生　大嵜藏左衛門

岸原佳武　二宮金之助
高畑清留　山下覚左衛門
猪股運八　森新五左衛門
寄田乙彦　鮫島伊左衛門
柴田延次　井尾善七
小野丈平　有馬嘉兵エ
高木雲登　大内七兵衛
重濵来　宍野豊治
大神四郎　伊地知季義
飯田与助　嶺嵜良助
重松要太郎　池田伊助
大原虎四郎　柴山景盛
畠原九郎　宮原良助
吉森伊三太　黒江景範
入江雪雄　鎌田政直

四

宮城四郎	柴尾田源内
中野鋭太郎	岡田稲蔵
大神五百枝	相良頼寿
船越平次郎	大河平源助
井上円吾	津江為徳
尾西来	伊地知種元
原金太郎	谷山喜輔
高木幹夫	東熊太郎
谷山志摩助	田中東穂
小島伴三郎	上井甚七
真藤清	村田佐吉
川原喜定	林昌助
廣田勇七郎	永田彦兵衛
小林運	伊東祐純
久野藤次郎	津田平士
桑山俊太郎	月田道春
榊森江	坂本勇之助
青木讓助	北原杏蔵
刀根信規	志水元善
藤常	竹永新二郎
林重雄	三井弥内
青柳小一郎	白尾源太郎
松岡竹次郎	財部実諧
以上福岡	甲田頼尚
波多野徳二郎	菊池重彦
樋口三郎	肥果健雄
国元吾作	杉山隼見
服部初太郎	有村武五郎
波多野五六	四元幾
荒川虎市	浦常太郎

田中明助　長嶌道義
中村掌一　石神平
本山政次郎　高山偉蔵
斎藤虎雄　山田灌叟
佐伯清三郎　滑地平三
平川半介　日下部庄八
濵村節蔵　菊池忠
岡虎蔵　平岡浩太郎
長峰太市郎　大塚平太郎
以上山口
弓削新
郡弾九郎　永田勝馬
内藤小平太　加塩為舜
水野越夫　赤嶌直記
加賀慎三郎　伊東卓雄
末松直道
相良淡海
以上熊本
狩野庄馬
関慎蔵
加藤民七郎
江口弥三
貫角治
中村賤夫
菅直記
吉野正内
有田直次
大矢野十郎
中里文次郎
石松藤次郎
白石貫一

福井代次郎
中野重吉
櫻川正太郎
菊川要二
廣瀬東次
山口林三
柳久太郎
須田廣作
高石寅二
谷川忠悦
以上大分
上野忠藏
仲晉久馬
岡部春吉
田中清次郎

竹下源之助
竹内六之助
野德之助
海辺兼吉
竹内源太
中野増太郎
桐原喜太郎
以上中津
町田孝造
乙守宗唯
首藤要輔
平山英藏
木場宗之丞
永山正兵工
有馬源吉丙

田中傳左衛門
山下嘉兵衛
池田左衛門
岡本勝知
阪本栄俊
赤壽元瑞
指宿通綱
前田濵之丞
愛甲雄蔵
末原筵次
迫田權五郎
東郷荘之進
落合精次
篠原源次郎
知識文次郎
小倉祐助
梶原景一
池上盛行
東郷弥茂
伊東裕蔵
奈良原弘
蓑田実敬
高山直平
稲沢恭三
長倉弥九郎
米良雲暉
竹下盛隆
児玉利謙
重永藤次郎
佐藤良助

長連四郎
坂本友蔵
塚元淳一
青嵜彦一
長嵜源蔵
落合友次郎
川上親平
大木淑慎
児島仙蔵
荒川助八
土岐十助
久保田与兵エ
波多野吉右衛門
宮嵜孫八郎
内浦喜兵エ
岩抑甚太夫
宮内喜一郎
服部喜寿
渋甲良八
稲留税
楳新十郎
野間権之丞
伊地知集衛
稲留静
安田東一
木携須賀人
永田喜之進
郡山伊平太
郡山弥一郎
成尾甚七

成尾彦之丞
宅万平右衛門
宅万弥之助
竹迫平助
黒木弥三次
本村義任
野寿栄助
成尾甚之丞
伊集院兼雄
池田金左衛門
塚田仙蔵
上脇喜左衛門
黒江吉之丞
大窪新右衛門
神宮司一郎次
秋山幸吉
山内源平
鮫島平蔵
託摩英蔵
成尾一二
桑鶴彦二
肥後百一
肥後雲八
町田龍之進
石神喜次郎
帖佐豊平
大山八之丞
井上義鑑
末原喜助
児玉甚太郎

川野荘助
川野四郎助
有川勇吉
松山助之進
岡矢之進
安藤覚之助
馬渡隆次郎
山下甚次郎
逸見曽八
栗野雄八
荒牧平十郎
満尾仲左衛門
谷川十蔵
池田早之丞
有馬信助
坂口平吉
上妻時記
犬童彦五郎
勝目燕雄
前田勇邦
永嶺次三郎
竹ノ上稲助
折田半蔵
池水平三
井上休之助
山下半兵エ
罘八平
上床半之助
永田金兵エ
隈元文次

岡部与助
永田喜平次
堀内良助
別府栄輔
山村隼治
山村城介
山村十左衛門
井上栄之丞
福山傳介
重久彦左衛門
有馬太郎太
前田次兵衛
永山傳次郎
愛甲才介
柳田源八
井上喜左衛門
武田武二
斎田市兵衛
岩元吉次郎
愛甲情介
寓善左衛門
寓善七
重久彦七
寺田浅左衛門
今村幸左衛門
寺田伊左衛門
鳥山平之助
寺田良左衛門
岩元弥七郎
田口平之丞

木佐貫常五郎
愛甲雄志
永吉致兵エ
井上卤輔
井上八之助
原口宇太郎
今村源太郎
井上喜七郎
三吉次左エ門
木場八之進
木場才蔵
福山傳之助
上村勘五郎
勝田正之助
酒匂喜吉馬
鮫島彦一
鮫島　一
菱田彦蔵
里村万次郎
二木半助
前園仁之助
千竈伊太郎
吉武省一
池田吉二
児玉佐七
山口市四郎
田原喜四郎
蕎田良一郎
日高祐吉
書川次郎

岩崎叶
吉元浅右エ門
成相嘉尾次
川崎与兵エ
曽山祐次郎
山口二之助
古垣市次郎
堀内只治
吉信栄吉
丸田藤太夫
川辺文助
射越金太郎
坂口幸助
蜂須賀民之助
原口帯右エ門

坂口正朝
鶴丸量衛
中村諸右エ門
清水湛
宇津為栄
梶原小助
久木山与市
和田軍吉
前田濮寝
松下市次
村井正緑
川野通固
中村政善
立山権十郎
本山貞直

野本誠助
烏丸綏吾
海老原為平
岩村仲蔵
高木秀並
大服為政
篠原伊藤太
渕辺元副
有馬七左衛門
柳田城之助
松田有節
田中弓蔵
斎藤覚一
樋渡八郎右衛門
山口弥九郎

成尾勘右衛門
長山健彦
羽牟兼臣
有馬竜之助
上野景貫
上野藤市
有馬利左衛門
園田恒之助
井上静利
蜂須賀雄少
阿万真澄
鮫島新蔵
鮫島九郎兵衛
永井善蔵
木佐貫与十郎

小山十次郎
種田東十
山口源十郎
都外川新五郎
海江田綱架
郡山権太夫
田中伊左エ門
鎌田助之丞
西牟田竹次郎
谷口平右衛門
池田甚右衛門
池口喜左エ門
池口市兵衛
山元善之進
鎌田助左エ門
鎌田藤之助
川辺権右衛門
西牟田政助
樋渡仲蔵
愛甲治右衛門
紀藤五郎
松山宮茂
田中孝太郎
都外川正八郎
福島仲之丞
岩月伊八
黒木平太
愛甲平助
有馬揺輔
中村清蔵

和泉周蔵
安田善次人
野村矢太郎
道岡彦二
野田強之進
遠矢彦二
菱刈隆次郎
猿渡藤次郎
橋口奎左エ門
有馬勇七
愛甲喜助
木原権太郎
曽木伊之丞
高城吉之進
曽木茂輔

園田武右エ門
愛甲仲助
崎山将助
竹山誠次
藤田源吾
橋口伊五郎
谷口萬六
橋口助太郎
谷口兼吉
山本弥兵エ
谷口勇右エ門
松下彦二郎
山本与七郎
永田金之丞
山本作兵衛

松下直之丞
貴島庄之進
中尾彦八
松下市助
林八之進
上野藤之助
石塚末次郎
橋口与吉郎
橋口善平次
橋口宗一郎
中尾覚兵衛
坂本彦助
瀬居猪之助
永田善次郎
十島彦次

藤井傳左衛門
十島宗蔵
深川嘉市郎
上野嘉左衛門
福山孝次
久留小八郎
濱田龍蔵
濱田矢兵衛
大久保佐太
濱田直次郎
川畑直助
濱田勇蔵
濱田矢之輔
十島郎左衛門
薬師寺惣七

国立公文書館
National Archives of Japan

四

小幡圓兵工
中村杢太郎
天辰甚吉
薬師寺藤進
上野傳左エ門
村尾源之助
上野恭藏
知識甚八
淡川斎藏
永田正之進
上野助八
野村賢造
有馬半左エ門
石嶺彦吉
永井源吉
平嶺政助
阪本平次郎
横山重左馬
古善左エ門
勝目量平
和田豊策
丸山貞助
伊集院良藏
井上秀哉
高嵜彦助
野嵜静分
勝目次兵衛
佐多城左エ門
山本鉄二
菊池繁太

白濱善左衛門
山村才助
上村常太郎
濵田良吉
池水政五郎
久本弥一郎
生駒助之丞
川端嘉之丞
橋口兼重
肱岡栄助
樗木治介
中村与四郎
川添清一郎
川添太之助
細井吉次郎
池田十郎
中村佐一郎
山内孫市
中村直次郎
飯野勢六
河野辰次郎
榎並八兵衛
上野六郎
鎌田英之進
車田兵作
伊藤篤左衛門
藤田藤十郎
久米十郎左衛門
千々万五左衛門
中村喜八

和田一分
塩田傳吉
町田貞道
池田静治
藤崎仙右衛門
児玉直次
佐藤庄蔵
松永平内
佐多七左衛門
上野幸吉郎
中村壮太郎
松山兼次郎
谷元道貫
有留信吉
松下助一

竹下荘吉
馬場万之助
蒲生中蔵
松下兼信
谷口仲兵エ
上野清貞
林七郎次
東郷重護
川崎十兵エ
東郷幸左衛門
川崎佐一郎
久永喜七郎
肥田喜之丞
入来院蔵治
指宿八郎右衛門

秋元孫右衛門

中江貞治

川井田宗右衛門

坂本佐兵衛

川辺武二

宮原七左衛門

羽佐間元克

谷口祐右衛門

岩切賢助

福留経紀

稲元氏総

薗田秀里

神田橋耕内

田原健蔵

原田宗之丞

波多与蔵

児玉栄寿

上野次郎八

榊幸兵衛

郡山六之丞

西番六郎

中島喜南

植村兵吉

大浦良太郎

柳原藤介

坂本直衛

山口勢人

肥後十内

粂嵜伊兵衛

野元新太郎

野元万之助
吉海郷次郎
小野原藤八
山内庄助
菓元義衛
蜂須賀権之進
阿万良八
篠原藤蔵
山口庄八
寺島喜之進
山下新分
前田藤五郎
阪本助七郎
石峯善五郎
山下正蔵
辻八之進
図師助七
有馬八太郎
渕辺与市
東謙蔵
簑田長穆
竹内与市蔵
旭金次郎
土屋富之進
竹原用八
池田貞義
有川勘助
長野金蔵
武松伴吉
山下勘次郎

国立公文書館
National Archives of Japan

矢神直之進
曽木彦助
田中龍右衛門
久萬郁助
松壽十次郎
冨山孫四郎
左近允彦丞
隅豐之助
榊権右衛門
阿万治左衛門
有馬知紀
樋渡清吉
川畑八造
楫宿角志
上野勇次郎
泥谷直義
飯田辰巳
柏木七郎
久保益良
大江元七
川村休市
中尾武一郎
岸田角之助
川俣致憲
坂本敬助
鎌田正方
菊池　繁
近藤　長
長倉英士
塩川成海

国立公文書館
National Archives of Japan

上床壮助
木村平右衛門
阿萬悠三郎
福永齊夫
柳田重周
唐仁原叶
清水清喜
内藤有慶
尾藤知光
平島重綱
麻生直温
齋藤常藏
藤木半太
野口一馬
大塚又次郎
伊勢地源右衛門
大童英輔
郡司総
青山驍
宗像覺馬
佐土原省吾
村上景捷
松村勝三
甲斐半藏
宮川負衛
福山恭全
宇都宮泰輔
飯田道義
竹下庄之進
妹尾包通

山下良全
伊丹親衛
平島直之
加世田一二
松嵜迪
和気鉄馬
佐原藤五郎
以上長嵜

捧鎖、贖罪收贖

荻原粂三郎
以上福岡

太田好太郎
柴田善七
岩本梅次郎
山賀半内
甲賀長吉
山口岩玄
矢田庄蔵
田中榮吉
梅木寅次郎
以上山口

田中美ヤ
澄川洸
以上福岡
菱井ユキ
伊東三カ
吉賀ヒサ
田村イト
岸田ユク
横山トヨ
石谷キ文
石丸ムメ
津森ナミ
以上山口

四

廣島縣士族鯵坂元晴外[illegible]
新[illegible]
壽[illegible]

明治十年十月廿二日　[illegible]

太政大臣三條実美殿